

長大橋WG紹介

井谷 達哉 IHIインフラシステム

(日本では橋梁（特にメタル）の設計・製作・架設を行う会社。海外では橋梁を中心としたゼネコン。)

【ワーキング活動内容】

長大橋（吊橋・斜張橋など）に関する、人材及び技術のグローバル化に関する調査・検討

- ・ 事前調査、情報収集
- ・ **長大橋シンポジウム**
- ・ レク企画 ⇒ 有識者との意見交換
- ・ **海外調査団（トルコ）**

★活動メンバー（9名）

役職	氏名	勤務先
小委員長	小沼 恵太郎	パシフィックコンサルタンツ(株)
WGリーダー	奥野 誠也	大日本コンサルタント(株)
サブリーダー	井上 学	(株)IHIインフラシステム
サブリーダー	大倉 章弘	本州四国連絡高速道路(株)
WGメンバー	阿部 玲子	Oriental Consultants India Pvt. Ltd.
WGメンバー	井谷 達哉	(株)IHIインフラシステム
WGメンバー	高木 収	(株)長大
WGメンバー	田島 智子	(株)エイト日本技術開発
WGメンバー	ヘン サルピソット	三井住友建設(株)

1

「海外事業における長大橋技術・ヒトの継承と発展」シンポジウム

我が国の長大橋技術を振り返るとともに、国際展開に向け「**ヒト**」に焦点を当てたシンポジウムを開催。

第1部：基調講演

第2部：パネルディスカッション

基調講演：長大橋技術によるトルコでの橋梁事業の持続的展開

IHI 川上 氏

1971年のODA事業をきっかけにトルコ市場に参入。技術をもって道路管理者との友好関係を築き、トルコを地場化。現在は、トルコを拠点に欧州・アフリカ地域へ進出。



2

令和4年度会長プロジェクト 土木グローバル化総合委員会
土木技術者の国際化実践小委員会

「海外事業における長大橋技術・ヒトの継承と発展」シンポジウム



2022年 8月 5日(金) 9:30-11:30

会場：土木会館 講堂 *ハイブリッド形式 (ZOOM利用)

主催：(公社)土木学会 土木グローバル化総合委員会・土木技術者の国際化実践小委員会

参加費：無料

https://committees.jsce.or.jp/2022_President_Project02/node/13

03-3355-3452 (土木学会 国際センター 担当：澁谷、荒井)



※CPD認定プログラム
(認定番号：JSCE22-0833、単位数：1.7単位)



パネルディスカッション

IHI	川上 剛司 氏	請負者
本州四国連絡橋高速道路	福永 勸 氏	発注者
長大	深谷 茂広 氏	コンサル
パネラー	井上 学 委員	



①「これまで」の経験

- どのように「ヒト」を育成してきたか？ 計画的な長大橋人材の育成（会社）
- どのような視点で「ヒト」を抜擢したか？
- 重要技術（含・技術開発）と「ヒト」をどのように関係させてきたか？

②「これから」について

- 日本の長大橋技術の今後について 日本国内で長大橋の計画はあるかしばらく先技術継承(OJTが一番)が必要
⇒ てっとり早いのは海外プロジェクト
- 何を伝え、何を開拓していくべきか？ 中・韓は日本技術をよく勉強している
⇒ 日本人は貪欲さが足りない

3

海外調査団（IABSE 2023 イスタンブール大会＋長大橋視察）

IABSE：国際構造工学会

⇒ 構造工学分野で最も権威のある国際学会組織

参加者：9名（うち4名が発表）

1	小沼 恵太郎	パシフィックコンサルタンツ(株)	小委員会 委員長
2	鬼野 誠也	大日本コンサルタント(株)	長大橋 WG リーダー
3	井谷 達哉	株式会社 IHI インフラシステム	長大橋 WG
4	四條 雅之	八千代エンジニアリング (株)	インフラビジネス WG リーダー
5	田島 智子	(株)エイト日本技術開発	インフラメンテナンス WG リーダー
6	花井 拓	本州四国連絡高速道路(株)	
7	木内 愛理	本州四国連絡高速道路(株)	
8	下瀬 恒太	本州四国連絡高速道路(株)	
9	村野 文哉	株式会社 IHI インフラシステム	

論文発表の聴講の他、
参加者とのネットワーク形成

イスタンブール大会テーマ：



中・韓の勢いに
圧倒された・・・



4

トルコ長大橋視察

「海外事業における長大橋技術・ヒトの継承と発展」シンポジウムの川上氏の基調講演で紹介された、トルコの長大橋を視察。

オスマン・ガズィ橋 : 高速道路のBOT事業（デザインビルド）で建設。
道路の運営・維持管理会社を訪問。
建設に関与した日本企業による維持管理の技術サポート。



オスマン・ガズィ橋

第2ボスポラス橋 : 日本の円借款による建設から約35年が経過。
現在、補修工事を実施している日本企業を訪問。
その他の橋梁を含め、補修工事を継続的に受注。



第2ボスポラス橋

チャナッカレ1915橋 : 高速道路のBOT事業として建設。
トルコ・韓国企業のJVによる、建設・運営・維持管理が行われている。



チャナッカレ1915橋

オスマン・ガズィ橋（日本製）にとてもよく似ている？



視察団とは別に参加されていた、大学の先生・コンサルの方とも仲良くなりました。

今年も海外調査団を企画中！

IABSEシンポジウム

- 日時：4月10～12日
- 場所：マンチェスター
- テーマ：Construction's Role for a World in Emergency
 - ✓ Net Zero
 - ✓ Smart Structure
 - ✓ …

詳細は近日公開
ご応募お待ちしております！



橋梁視察

- 場所：エディンバラ
 - ✓ フォース鉄道橋
 - ✓ フォース道路橋
 - ✓ クイーンズフェリー橋
- } 見学 + 維持管理者へのヒアリング



その他、土木学会・英国分会とのイベントも企画中